

# おかにし



## 平成27年度学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、学校評価にご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいたアンケートの数は、317名でした。皆様からのご意見と児童へのアンケート結果、教職員の評価をふまえ、結果について読み取れたことをまとめました。今回の結果から、子どもたちの学びと育ちが実現できているか考察し、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

A：強くそう思う B：そう思う C：あまり思わない D：思わない E：わからない  
 【肯定率：(A + B) ÷ (A + B + C + D)】 (数字：%)

### 1 「学校教育に関すること」について

内 容 (保護者アンケートより)	肯定率
学校は、教育目標をわかりやすく伝えている。	79
学校は、学校だより、ホームページ等を通して学校の取組をわかりやすく伝えている。	90
学校は、スラスラタイムなどを通して基礎学力向上に取り組んでいる。	88
学校は、集会活動や様々な体験活動を通して豊かな心情を育てている。	86
学校は、異学年の集団活動を進め、人とのつながりを深める取組をしている。	85
学校は、「陵西チャレンジ」などを通して体力づくりに取り組んでいる。	88
学校は、保護者からの相談に対して適切に対応している。	75
学校は、登下校指導や避難訓練・防犯教室など子どもたちの安全・安心の確保に努めている。	73

多くの項目に対して、85%以上の保護者の方から「強くそう思う」「そう思う」という評価をいただきました。しかし、保護者からの相談への適切な対応や子どもたちの安全・安心の確保については、約4分の1の方が不安な気持ちを持っていることがわかりました。避難訓練は年間5回実施し、そのたびに経路などを点検していますが、引き渡しの訓練や防犯教室も実施できるよう進めていきたいと考えています。また、相談への対応については、個々にケースが違ってきますので、丁寧に教育相談を進めていきたいと考えます。そして、家庭とのつながりをもっと深めていけるようにしていきたいと思えます。今後も、陵西小学校の教育目標「生き生きとした子どもの育成」に向けて、教職員が一丸となり取り組んでいきます。



## 2 「学校生活に関すること」について

		A	B	C	D	E
保護者	お子さんは楽しく学校生活を送っている。	59	35	3	1	1
教職員	子どもたちは楽しく学校生活を送っている。	27	67	3	0	3
児童	学校は楽しいですか。	60	33	5	2	0

児童の約93%が学校を楽しんでいると感じており、保護者や教職員も同様に子どもたちが楽しく学校生活を送っていると感じています。この数字が100%になるよう、さらに努力したいと思います。子どもたちの様子を見ていますと、大きなけんかやめ事はあまりないのですが、友達の「何気ない一言」が気になり悩んでいる子もいるようです。学校としては、互いの言い分を聞いたり、その言葉に潜んでいる思いを聞きながら話し合いを進め、早期に対応し解決に努めています。子どもからの話で気になることがあったときには、すぐにお知らせください。子どもたちの言葉や行動に気を配りながら楽しい学校生活を送れるようにしていきます。

## 3 課題と考えられる項目について

### ○ 子どもは本をよく読んでいる。

		A	B	C	D	E
保護者	お子さんは本をよく読んでいる。	22	30	29	15	4
教職員	子どもたちは本をよく読んでいる。	7	73	17	0	3
児童	「読書通帳」にがんばって取り組んでいる。	21	30	32	17	0

本校の図書室は、読書ボランティアほか皆さんのご協力もあり、ここ数年でかなり充実してきました。子どもたちは、「読書通帳」を作って自分の読んだ本を記録し、自分でわかるようにしています。また、市立図書館からの本の貸し出し制度を活用したり、期間を決めて「絵本の広場」を設置したりして、子どもたちがより多くの本と出会えるよう工夫し、読書を楽しめるようにしています。

今年度は、2回ファミリー読書を実施したり、夏休みに図書館を活用した調べ学習に取り組めるよう指導したりしました。ファミリー読書は、親子で本にふれあえるよい機会になったというような感想を多くの方からいただきました。今後は、図書を活用した調べ学習に子どもたちが意欲的に取り組めるよう、指導に工夫を重ねていきたいと考えています。

### ○ 家庭学習の習慣が定着するよう声かけをしている。

		A	B	C	D	E
保護者	「家庭学習の手引き」などを見ながら、家庭学習の習慣が定着するよう声かけをしている。	15	49	28	5	3
教職員	家庭学習の習慣が定着するよう取り組んでいる。	23	60	17	0	0
児童	家ですすんで学習をしている。	40	37	16	7	0

### ○ 家での約束を守っている。

		A	B	C	D	E
保護者	お子さんは、家での約束を守っている。	24	50	21	5	1
児童	学校生活のルールを守っている。	46	45	7	2	0

学校でのルールは多くの子どもたちが守っていると認識しています。家庭では、学習やゲームの時間、お手伝いなど、各家庭で約束が守れるよう、家族の一員としての役割を決めることが大事だと思います。そして、役割が果たせたときには認めあげるように声をかけていただけたらと思います。

家庭学習については、今年度も、家庭訪問と個人懇談会の折に、市教育委員会と学校から「家庭学習の手引き」を配布し、2学期には再度、家庭学習の大切さをまとめたプリントを配布してきました。また、学校でも時間を決めて家庭学習に取り組むことができるよう学年に応じて指導をしてきました。毎日、宿題をする習慣をつけることはもちろんですが、学年が上がるにつれて課題だけでなく自分で考えて取り組む学習も必要です。学力の定着には、家庭での学習も大切です。習ったことを家庭学習で反復することも大事にしていけるよう、さらに指導をしていきたいと考えています。ご家庭でも様子を見てあげてください。

### ○ 子どものよいところをほめるようにしている。

		A	B	C	D	E
保護者	家庭では、子どものよいところを認め、ほめるようにしている。	36	53	9	1	1
教職員	子どものよいところを認め、ほめている。	50	50	0	0	0
児童	自分のよいところがいえる。	32	40	19	9	0

学校では、ほめほめツリーの取組を継続して、周りの人に目を向けてがんばっている人や、優しい行動をとっている人を意識して見つけるようにしています。また、自分のよい面に気付けるような声かけもできるだけたくさんしようと心がけています。ご家庭でもほめることへの取組は、年々数値が上がってきています。子ども自身も、以前に比べ少しずつ自分のよいところがいえるようになってきています。これからも、自分に自信をもって行動できるよう、学校でも家庭でもいいところを見つけてほめるように心がけていくことが必要です。

## 3 意識に差のある項目について

### ○ あいさつができる。

		A	B	C	D	E
保護者	お子さんは、家庭であいさつができる。	41	41	12	4	1
教職員	子どもたちは、学校で進んであいさつをしている。	0	33	13	53	0
児童	学校へ来た人や地域の人にあいさつをしている。	50	36	12	3	0

児童に比べて教職員の評価が低いという結果になりました。地域の方からの温かいお声かけもいただき、登校時に立哨して下さっている見守り隊の方からも大きな声であいさつをしていただいています。学校へ来られる方からは、「あいさつできる子が少し増えてきた」というお声をいただいています。また、目を見てあいさつをする子が多くなって来ています。しかし、なかなか自分からできる子が少ないことも事実です。来年度は、子どもたちから発信し、自分を振り返ったりあいさつ

運動を考えたりして、個々の意識が高まるような取組を行っていきたいと考えています。大人が進んで模範を示すことも必要です。今後も取組を継続していきたいと思います。

#### 4 本校の研究

##### ○ 授業について

		A	B	C	D	E
保護者	お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。	30	50	11	4	5
児童	友達の考えを聴いて伝え合う学習があるとわかりやすい。	53	40	5	2	0

##### ○ 確かな学力・学習意欲について

		A	B	C	D	E
児童	チャイム着席や次の時間の学習準備ができている。	35	48	14	3	0
児童	進んで発表している。	27	37	26	10	0
児童	授業中自分の思いや考えをしっかりと発表している。	30	38	24	8	0
保護者	学校での様子(学習・友達など)について、家族で話をしている。	38	49	9	3	0

今年度は、近畿算数数学教育研究大会が本校で開催され、「聴く・考える・伝え合う」活動を充実させるための取組を全体で進めてきました。学習規律を整え、自分の思いを伝える機会を学習形態の中にとり入れて、考え方に視点をおいた問題解決学習を重点的に進めてきたことが、自分の考えを伝えようとする意欲につながったのではないかと考えます。今後は、話の内容をしっかりと理解し、自分の考えが相手に伝わるような話し合い活動を積み重ねていくための指導を充実させ、確かな学力を育てていきたいと思います。



#### —お礼と今後に向けて—

今回もアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。厳しい評価をいただいた項目もありましたが、全体を通して温かい評価をいただいたことは、教職員にとりまして大変励みになります。学校関係者評価では、算数科の研究が効果を発揮したということや、異学年交流で各学年の自主性や協調性が培われていることに対する評価をいただきました。また、基礎学力の定着に向けた放課後学習などの取組の評価とともに継続性についての意見もいただきました。学校でのいじめ未然防止、早期発見を適宜アンケート等の実施により把握していくことも必要であるとのことのご意見もありました。全体として、アンケート結果が大体できているからいいというのではなく、目標を高く設置し、それに向けて根気強く指導していくことが必要です。次年度も、子どもたちの気持ちを大切にしながら、生き生きとした子どもの育成を目指した取組をしっかりと進めていきたいと思います。